

春告草

令和3年度 第9号 令和4年1月12日 進路指導部発行

自處超然、得意淡然

校長 藤野 泰郎

江戸末期から明治にかけて活躍した勝海舟の座右の銘「六然訓」にある6つの文言「自處超然」「處人藹然」「有事斬然」「無事澄然」「得意淡然」「失意泰然」のうちから、特に2つの文言「自處超然」「得意淡然」を皆さんに贈り、心から健闘を祈ります。

2年連続のコロナ禍を耐え抜いた7期生の精神力は、見事なものです。この精神力を基に、共通テストをはじめとした大学入試に立ち向かうこれからの心構えとして大切な言葉です。今まで頑張ってきた努力を信じ、周りで起こる雑音は気にしないで超然とし、着々と自分の道を歩み、そして、油断、驕り高ぶる気持ちをぐっと抑え、日常生活を改めて整え、残余の時間をひたむきに勉強して本番（受験）に立ち向かう姿勢、とでもいいでしょうか。そうした心構えでいてください。そうすれば自分自身を見失うこともなく、最大の力を発揮できます。大丈夫、7期生なら必ずや大願成就できます！

自分を信じて、入試本番まで力を伸ばせ！

副校長（後期課程担当） 細野 誠治

この1年、入試本番に向けて皆さんは頑張ってきたのだから、緊張しないわけがないですね。無理に「緊張しちゃダメだ」と思うのではなく、「緊張するのが当たり前だ」と割り切ってしまうでしょう。気持ちが少し楽になりますよ。入試への心構えとして、次の3点を覚えておいてください。

- ① 第1志望校への強い思いを持つ
- ② 併願校入試は、第1志望校入試への練習試合
- ③ 朝型に切り替え、規則正しい生活を送り、健康を維持する

何より大切なのは、あきらめないこと。何度も言われているかもしれませんが、多くの受験生が毎年、模試の不利な判定を覆して合格を手にすることができています。現役生は入試本番まで力が伸びると言われています。最後までコツコツと努力を積み重ね、自分を信じて全力で挑んでみてください！

「ゆっくりと落ち着いて」

副校長（前期課程担当） 山本 進一

6年間、鷹校で充実した学校生活を送ってきた皆さんは、多様な体験活動や部活動、特別活動によって、受験を乗り越えられる学力や体力、気力が十分に蓄えられ、身に付いています。仲間と先生もついているので安心です。

これまでしっかりと勉強してきたのですから、焦らなくて大丈夫です。受験日に向けて落ち着いて、無理なく着実に「できる準備」をして、その日を迎えてください。皆さんが志望校に合格し、それぞれが思い描く未来を手に入れることを心から祈っています。

正義は我にあり

進路指導部主任 清水 剛史

歴史を振り返ると、政権を手に入れた君主の多くが自身の支配権を正当化するために様々なことを行いました。例えば、ナポレオン3世は人民投票で810万票中782万票獲得という圧倒的な支持を得て、1852年皇帝に即位しました。正当化、つまり、その行いに正義はあるのか。

6年生の皆さんに正義はあると思います。6年生の皆さんが将来、リーダーになることは、日本を思いやりのある国に変えることにつながると信じています。その第1段階が志望校の合格です。正義は我にあり。現役生はこれからの時期が最も学力が伸びます。一番苦しい時期かとは思いますが、自分に自信をもって、最後まで歩みを止めず、前に進んでください。

三鷹中等の先生全員が皆さんを応援しています。

いよいよ共通テスト！ もう一度「受験上の注意」を確認しよう

試験当日の注意事項 (P.9)

- ・当日は受験票及び写真票を必ず持参する。写真を貼り（写真を貼るところが2か所ある！）、自署欄に本人が黒のボールペンで氏名を記入しておくことも忘れずに。
 - ★受験票を忘れたら→「受験上の注意 (P.9)」
試験場の「試験場本部（試験当日、試験場で確認する）」へ行き、仮受験票、仮写真票の交付を受ける
- ・試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合→「受験上の注意 (P.10)」
受験票に記載されている「問合せ大学」へ連絡し、試験場へ向かう。
 - ★電車が多少遅れても試験に間に合うように、余裕をもって家を出よう。焦って会場に向かっても、実力を十分に発揮できない。

試験当日の朝、もしも具合が悪かったら…次のように行動せよ！

- 1) **受験票** と **受験上の注意** を用意し、内容を確認する。
※**受験上の注意** (P.16~17) に、手続き方法が詳しく書いてあります。落ち着いて、しっかり確認してください。
- 2) 志願者本人又は代理人が、**受験票** に記載されている「問合せ大学」に電話をかけ、追試験の受験申請を伝える。
- 3) 病院に行き、**医師の診断書 ※必ず治療期間を書いてもらう** をもらう。
- 4) 申請受付時間内に、志願者本人又は代理人が、必要書類(受験票+医師の診断書)を「問合せ大学」に持参し、申請する。受付時間を**受験上の注意**で確認！ 1日目→1月15日 7:30~18:10 2日目→1月16日 7:30~17:50
 - ・申請受付時間を過ぎると、いかなる理由があっても申請することができない！
 - ・もし持参できない場合は申請時間内に問合せ大学に電話をかけ、指示を仰ぐこと。
 - ・追試申請の際に受験する教科・科目を伝える必要があるため、代理人が手続きをする場合はこれらを確認しておく。

★新型コロナウイルス感染症の拡大や医療提供体制の逼迫等により、保健所等から自宅待機を要請されている「医師の診断書」の提出が困難な場合は、「問合せ大学」にまず電話連絡をする。
もしものときのために、**受験上の注意** (P.17) を読んでおこう。

- 5) 書類を提出し、追試験受験が認められると、大学からその場で **追試験受験許可書** が交付される。
追試験の手続きを確認し、追試験受験許可書を保管する。
- 6) 学校(もしくはクラス担任)に追試験を受験することを連絡する。
体調不良のため1月17日(月)データリサーチに登校できないときは、学校へ電話連絡してください。

大学入試の基礎知識(第9回) 入学までのスケジュール

6年生はいよいよ大学入試シーズンを迎える。1月15日、16日に大学入学共通テストが行われ、1月下旬からは私立大学の入試もスタートする。国公立大学の後期試験までを視野に入れれば、2ヶ月に及ぶ長丁場。寒さが本格化するこれからは、体調維持も大切だ。これまでの努力が実るよう、健康管理にも注意しよう。

何といても6年ぶりの「受験」。そして競う相手は全国の受験生。中学受験とは、規模もレベルも大違いだ。試験場では、自分以外のみんなが賢そうに見えるかも知れない。けれども、これまでやってきたことを思い出し、心を強く保ち、乗り越えてほしい。試験場に続く道を歩くとき、門をくぐるとき、教室に入るとき、席につくとき、下を向いてはいけない。現役生は受験期にも伸びる。先輩たちも共通テストを終えてからさらに伸びていった。きみたちも、自分の力を信じて、みせろ！三鷹の底力！

しばらく心身ともに疲れる期間が続くが、大学のキャンパスを颯爽と歩く自分の姿を想像し、力を十二分に発揮できるよう祈っている。

■試験前日までの生活や心構えなど

①生活リズムを朝型に切り替える

試験の開始時間に合わせて、生活リズムを整えよう。寝不足では、良いパフォーマンスは望めない。

②試験当日の過ごし方を考えておく

試験当日は、待ち時間までの過ごし方が大切。会場に着いてから試験開始まで、何をしようか具体的にイメージしておこう。特に初日の「国語」(12:45 受験者入室終了)から「英語」【リスニング】(18:10 試験終了)は、長丁場だ。糖分を補給するなど、途中でエネルギー不足にならないよう対策を考えよう。

③「持ち物チェックリスト」を活用して準備を整える

受験上の注意 (P.24)にある「試験当日の所持品チェック欄」を活用し、前日に慌てることのないよう準備しておく。

④体調を管理する

無理をせず、睡眠時間はしっかりとる。当日を元気に迎えることが、何よりも大切である。

■試験当日

①使い慣れた参考書を持参する

試験会場で、「使い慣れていない参考書」での勉強はやらないほうがいい。未知の事項に遭遇して焦ったり、今持っている知識と混同したりして、不安になってしまう。「復習」とは、自分がこれまで学んできたことを見直すことである。試験会場に持参する参考書は、**1科目につき1冊、自分が最も力を入れて取り組んだ参考書**を選ぼう。

直前に参考書を使って復習すると逆に焦ってしまう…という人は、参考書を見ずに、友人との思い出写真を見たり、頭や手のマッサージなどをしたりして、緊張をほぐそう。

②寒さ対策を考えておく

自分の座席の場所によっては、寒い(暑い)ことも考えられる。**脱ぎ着しやすい防寒着や使い捨てカイロ等**を用意しておこう。

③「反省」よりも「次のこと」に集中する

試験の休憩時間にやるべきことは、終わった科目の「反省」ではない。「この範囲を勉強しておけばよかった…」と悔やんでも、点数は変わらない。手ごたえが感じられなくても、**過去のことはいったん忘れて、次の科目に集中しよう**。飴やチョコレートなど、手軽に食べられる甘いもので気分転換をしよう。糖分は脳の働きを活性化させるそうである。

2日目に「数学」「理科」を受験する生徒は、1日目の科目が終わっても自己採点はしないほうがいだろう。翌日の試験に備えて、早く寝よう。

④焦らず、惑わされず、自分を信じる

大学入試は、「何点とれたか」ではなく、合格ラインを超えるかが重要。易化、難化などに惑わされないようにしよう(難化はラッキー!解けない受験生が多いはず)。**解けない問題に固執して、解ける問題をはずしてしまうことがあってはいけない**。を持って、解けない問題を捨てることも重要だ。解けない1問で動揺しないようにしよう。

■手続きなど

①私大共通テスト利用入試

私大共通テスト利用入試は、**共通テスト受験前**の出願が主流である(一部の大学・学部には共通テスト後の出願ものもある)。まだ出願していなければ大至急手続きせよ。出願締め切りは多くの大学が14日(金)だ。



Web 出願は各大学で受付が始まっている。個人データの登録など、学部・学科・入試方式の選択画面に進む前に行う手続きは多い。気持ちにも日程にもゆとりのあるうちに手続きは済ませるようにしよう。(画像は早稲田大学の Web 出願画面)

②共通テスト後は、データリサーチに必ず参加

1月17日(月)はデータリサーチ(自己採点)を行う。登校は通常通り。個人成績票は1月21日(金)に返却する。

③国公立大は前期・中期・後期の全日程とも同時期に出願

全日程(前期日程、後期日程、公立大中期日程)とも、出願期間は**1月24日(月)から2月4日(金)まで**。

④調査書の追加発行

同じ大学の他学部・他日程等へ追加出願をする場合、調査書の再提出が必要なのか、再度の提出が不要(先に出願した調査書を利用する)なのか、各大学の入試要項をよく読み、確認しよう。**追加発行の必要があれば、発行申請書を各担任に提出する。**その場合は担任(または学年の先生)へ事前に電話連絡をしてほしい。ただし、適性検査関係のため、以下の期間は調査書の発行ができない。

取扱い不可期間 土曜・日曜・祝祭日の他、**適性検査期間【2月1日(火)～2月10日(木)】**
追加発行の調査書は、原則本人が経営企画室の窓口で直接受領する。
本人確認のため、受領時に「生徒証」を提示する必要がある。

■合格発表と入学手続き

①確認の方法

多くの大学で「WEB合格発表システム」を利用した合格発表を行っている(大学内での掲示による合格発表を行わない大学が多い)。このWEBシステムは、あくまで結果を知らせるための補助的な手段であり、合格者には、「**合格通知書(合格証明書)**」および「**入学手続き書類**」が簡易書留や速達で郵送される(WEBシステムで「入学手続き」が必要な大学もある)。不合格者には、可否通知書を送る大学と送らない大学がある。合格発表日を過ぎて、何も届かない場合は必ずWEBシステムの確認をしよう。合格発表や手続き方法は大学により異なるため、**入試要項にしっかりと目を通し、締切日や準備する書類などを確認しよう。**

②入学手続き

大学に合格したら、**進学するかどうかを決定し、入学手続きを行う**必要がある。「入学手続き」とは、学費の振り込み及び必要書類の提出のことだ。以下に、大まかな流れを説明するが、手続きの方法や期間は大学によって異なるため、大学から送られる「入学手続き書類」をよく確認しよう。

★学費の納入

大学に合格したら、**学費(入学金と初年度授業料)を大学指定の口座に振り込む**必要がある。納入方法には、一括方式と二段階方式がある。一括方式はまとめて支払う方法で、二段階方式は支払締め切り日が2回設けられており、1回目で入学金、2回目で残りの費用を支払う方法だ。二段階方式は、複数の大学や学部を併願していて、受験した全ての大学や学部の結果を見てから進学先を決めたいという人におすすめだ。ただし、入学金は返還されないため、慎重に検討しよう。

★入学手続き書類の提出

必要書類に記入し、卒業証明書、住民票などを添えて、指定された期間内に大学に提出する。なお「**卒業証明書**」は、**3月5日(土)卒業式後に担任が卒業生へ配布する**。必要な書類は大学によって異なるため、何がいつまでに必要なのか、よく確認し、準備しておこう。

■新生活準備、入学式

遠方の大学に入学し、一人暮らしをする人は、入学手続きが終わったら、入学までに急いで新生活の準備を始めよう。物件探しや家具・家電の購入など、短期間で多くのことを決めて、進めなければならない。また、入学式の前後には新入生向けのオリエンテーションや説明会がある。学部のガイダンスや奨学金の説明など重要な内容が多いので、大学のWEBサイトや送られてきた資料などを確認し、見逃さないようにしよう。

★奨学金の申請

大学入学後に、奨学金を申し込むときに、**高校の「成績証明書」や「調査書」が必要になる場合がある**。その場合は、本校の経営企画室に連絡し、発行の申請をしなければならない。卒業したあとの証明書等の発行には、手数料がかかる(詳細は、卒業式当日に配布する)。

最後まであきらめず、全力を尽くせ！ みせろ、三鷹の底力！！